

科目	総合教養Ⅲ-健康の世界-	単位数	2
担当教員	松中 久美子、倉恒 弘彦、池上 徹、治部 哲也、松村 歌子、大川 尚子、八田 武志、田巻 義孝、木村 貴彦、野口 法子、加藤 美朗、堀田 千絵、福田 早苗、藤岡 弘季、川村 小千代		
履修対象	社会福祉学科1年春学期・心理科学科1年春学期・健康科学科1年春学期・福祉栄養学科1年春学期・PT1年春学期・OT1年春学期・ST1年春学期・子ども1年春学期・発達1年春学期		
目的	健康についてのアプローチを包括的に紹介し、個人が健康になりうるための必要な知識を伝える。		
達成目標	<p>「技能・表現」</p> <p>(1)健康にかかわる専門職として必要な技能を発揮し、学校や職場で健康や安全に関する教育を行うことができる。</p> <p>「知識・理解」</p> <p>(1)健康を維持し人生のQOL(生活の質)を高めるという楽しみを実現するために必要な、健康についての包括的な知識が身についている。</p>		
授業計画			
1	健康概念の変遷(倉恒弘彦)/健康の概念は年代とともに変化してきている。本講義では健康概念の変遷を辿りながら現代に必要な健康的な生活を考察することを目的とする。		
2	健康と心理学(コーディネーター、松中久美子)/心理学や行動科学と呼ばれる研究領域では、行動が形成される仕組みや、心(脳)と身体の関係について取り組む。人がどのような環境においてどのような健康関連行動を学習していくのかについて学習心理学の観点から、また、心(脳)と身体との相互作用が健康に与える影響については、生理心理学の観点から、それぞれ実証的研究を紹介しつつ解説する。		
3	健康な心の仕組み(“適応”)を考える(堀田千絵) / “ウソをつく”知覚、注意、記憶の働きから健康な心の仕組みや機能とは何かを考える。特に、芸術領域との関係も視野に入れ、障害(例えば、発達障害児者)を有す人々がもつ特徴と比較し、体験的に理解できるように紹介する。		
4	認知・行動からみた安全と健康(木村貴彦)/環境内での適応的な行動の実現は、健康被害を伴う事故の防止や健康教育・増進に重要である。本講義では行動に至るまでの人間の認知処理や意思決定が健康や安全とどのように関わるのかについて考えていく。		
5	健康に関する学校教育の役割(大川尚子)/健康の維持・増進のための学校教育のあり方を紹介する。特に学校における性教育の考え方、進め方を中心に解説する。		
6	教師にひろがる多忙とメンタルヘルス(池上徹)/各種調査によれば教師は非常に多忙であり、精神性疾患に伴う休職者数も増加している。その実態を踏まえ、教師のセルフメンタルヘルスマネジメントの重要性について学ぶ。		
7	健康と行動変容(川村 小千代)/自らの健康をコントロールし改善できる能力はどのように備わるのか、自らの健康行動を通して考える。		
8	子どもの発達と健康(野口法子)/思春期の子どもの発達を健康教育的視点からとらえることを目的とし、子どもたちの事例を取り上げつつ解説する。		
9	健康と疲労(治部哲也)/現代社会における疲労の現状を学ぶと共に、その評価方法、治療法について解説する。		
10	高次脳機能と健康(八田武志)/ヒトという種が獲得した高次脳機能(言語、記憶、問題解決など)の特徴、それらが発達とともに成熟し衰退するプロセスの特徴、頭部外傷により機能低下を起こす仕組みやそのリハビリテーションなどの話題から、健康を考える。		
11	特別支援教育の目的と役割(田巻義孝)/原則40人の一斉指導に適応できない子どもがいる。このような子どものために、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導などの教育形態が用意されている。この授業では、これらのことを講述する。		
12	発達障がい児の行動特性(加藤美朗)/通常学級には特別な支援を要するとされる児童生徒が在籍している。また、その多くにおいて発達障がいあるいはその疑いがみられるとされる。そこで、本授業では発達障がいの種別、およびそれぞれの行動特性について解説する。		
13	職場における健康と法(松村歌子)/職場におけるセクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメントについて、概要や背景、判断基準、被害に遭った場合の法的な対応等の知識を身につける。		
14	運動による健康管理(藤岡弘季)/現代生活における交通機関に発達・機械化は肉体労働による負担を軽くする一方で運動不足による健康障害を引き起こしている。健康を維持し生活習慣病を予防するために必要な運動(身体活動)量とそれを実践する方法を紹介する。		
15	環境と健康(福田早苗)/人を取り巻く環境は近年ますます複雑になっており、環境による健康被害も多数みられる。水俣病や放射線事故の事例などを元に環境と健康の関係について考える。		
授業形態	健康についての複数の専門家によるオムニバス形式で行う。基本的には講義形式となる。		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額

健康科学入門	関西福祉科学大学健康福祉学部健康科学科(編)	文理閣	1900円+税
参考書			
成績評価の基準・方法	各回の小テスト結果を総合し、100点満点中60点以上を合格とする。		
留意点	授業中に随時小テストを行い、評価の対象とする。		
準備学習	各回のテーマに関連した書籍などを読む。		
備考	小テストの結果は、原則マナバによりフィードバックを行うが、異なる場合は各担当者より連絡する。	No.	